

宮地小だより

「み」みんななかよく 「や」 やいとげよう最後まで 「じ」 自分からすすんでがんばる宮地っ子

5月

文責
八代市立宮地小学校
校長 嶋村 立馬

落ち着いた生活をしよう!!

子どもたちが新しい学年に進級してから、2ヶ月近く経ち、新しい学年にもなれてきたせいか、子どもたちの室内での行動が落ち着かない場面を多く目にするようになってきました。特に雨が降った日など、室内で鬼ごっこをする子どもたちもいて、大きなけがにつながらないか心配しています。

今週、学校生活を振り返り、落ち着いた行動について考える全校集会を行いました。感染症の拡大に配慮しながら、これまでリモートで行ってきた全校集会ですが、今回は久しぶりに全校が集って実施しました。今まで、他の学年の子どもたちが話を聞く姿を見合うことがなかったので、久しぶりの集会はとても新鮮でしたし、それぞれの学年で刺激になったことと思います。校内での過ごし方などについて、担当の先生から写真を見ながら全体に話していただきました。その後、各教室で、担任の先生から落ち着いた生活について、各学年の実態に合わせて、話をしていただきました。

これから、雨が多い季節になっていきます。運動場で遊ぶ機会も少なくなり、子どもたちの元気も有り余ると思いますが、一人一人が自分の行動を振り返り、大きなけがにつながる行動をしないように心がけてほしいと思います。そして、みんなで命を大切にすることができたらいいですね。



種もみの選別を行いました

小学校では5年生で米作りを学習します。宮地小学校でも、これまで、地域の方々の力を借りて、稲づくりの体験活動を行ってきました。昨年度からは、保護者でもある山口功倫さんの田んぼをお借りして、山口さんに稲作りを指導していただいています。今年度は、現6年生が昨年育てた稲の種から、稲作りを行っています。5月16日に5年生の子どもたちが、山口さんの指導のもと、昨年度収穫した種もみの選別を行いました。種もみを塩水につけ、底に沈んだ種もみだけに選別しました。今、選別した種もみを水につけ、十分に給水させています。これから、収穫の秋まで、5年生による稲作りは続き、育てた種が、また来年へと引き継がれていきます。昨年度から今年度、そして来年度へと種が引き継がれていくことで、この稲づくりにたくさんの子どもたちが関わっていきます。5年生の皆さんには、収穫の秋に向けて、しっかりと稲を育て、収穫の喜びを感じてほしいと思います。

